



テクニカル・メッセージ

トランスミッション用オイルクーラ装着車 メンテナンスの留意点について

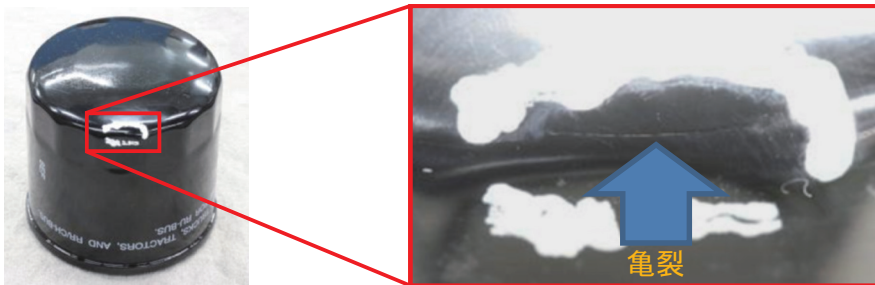
トランスミッション用オイルクーラ装着車において、オイルフィルタを交換時期を過ぎて使用した場合や、トランスミッションの不具合により大量の摩耗粉が発生した場合に、フィルタ詰まりによってオイルとともに異物がバイパスされ、下流のオイルクーラや配管に異物が堆積することがあります。この状態でオイルフィルタのみを交換し使用し続けると、オイルフィルタ内の油圧が上昇しオイルフィルタに亀裂が生じオイル漏れに至る可能性があります。オイルフィルタを交換した際に大量の摩耗粉が認められた場合には、オイルクーラ及びオイル配管の洗浄または交換を実施していただけますようお願い致します。

■ 対象車型

<トランスミッションオイルクーラ装着車両>

- ・大型トラック : 新長期規制 7段及び 12段トランスミッション搭載車
- ・大型観光バス (RU8J 車) : ポスト新長期規制以前 6段トランスミッション搭載車
- ・大型観光バス (RU1E 車) : 新長期規制 6段トランスミッション搭載車

■ オイルフィルタ亀裂の事例



■ オイルフィルタの交換時期について

60,000km 毎または1年毎に交換を実施してください。

※オイルクーラ付き以外の車両のオイルフィルタ交換時期は、上記と異なる場合があります。各車の取扱説明書をご確認のうえ、正しい時期で交換をしてください。

■ トランスミッション用オイルクーラの整備について

オイルフィルタの目詰まりやトランスミッションオイルに大量の摩耗粉が認められる場合はオイルクーラ及び接続されている配管の洗浄または交換をお願い致します。

<部品配置図：代表事例 大型トラック12段トランスミッション>

